



“認知症の人や周囲の人々も、安心して、自分らしく暮らし続けることができるまち”を目指して

地域で認知症についての理解者を増やすために

## 認知症サポーター養成講座を実施しています。

福島市には、平成28年3月31日現在で、20,527人の認知症サポーターがいます。地域の方だけでなく、企業や学校でも積極的に取り組んでいます。

### 認知症サポーターとは

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、認知症の方や家族を温かく見守る応援者のことです。「認知症サポーター養成講座」(約90分)を受講いただければどなたでもサポーターとなります。

●受講後は、認知症サポーターの印である“オレンジリング”を配布しています。



オレンジリング

●受講した団体や企業には“認知症サポーターステッカー”も配付しています。



認知症サポーターステッカー

### 受講しての感想

- ・今までよく知らなかった認知症についてよくわかった。周りの人だけがつらいのではなく、認知症の人もつらいこともわかってよかった。(中学生)
- ・ゆっくりと優しい声かけを徹底したい。電話対応で認知症の方が出たこともあるので、業務にも普段の生活にも活かしたい。(企業の職員)



グループワークに取り組む東邦銀行の皆さん



渡利中学校 寸劇の様子

### 認知症サポーター養成講座のお申込方法

受講をご希望の方は、  
長寿福祉課までご連絡ください。  
グループでのお申込みも  
お待ちしております。



### 徘徊模擬訓練

地域での見守り体制づくり

認知症の人が行方不明になったという設定のもと、地域のネットワークを活用し、「通報～連絡～捜索～発見・保護」の流れや実際の対応を訓練します。町内会、支所、警察、開業医、ボランティア団体等が協力して行っています。



松川の石合町内会で実施している様子